

School trip to
Ishigaki island

11月8日(月)~11月11日(木)



「どこにいかうか」ガイドブックで打ち合わせ



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

おみやげ屋さんいっぱい 石垣市街を散策

修学旅行
取材日記
5

修学旅行一日目に行われた石垣市内散策。石垣島に到着した二年生一行は、川平湾やバナナ公園の観光をしたあと、石垣市中心部の離島ターミナルで各班ごとに分かれ石垣市内散策に移った。

当日はの天候は曇りであったが、日中の気温は25度を超えていたため、滋賀県の気候に合わせて服を着てきていた生徒たちの中には汗ばんでいる者もかなり見受けられた。当日の彦根市の朝と、石垣島の日中の気温差は10度以上の差があったようだ。

生徒たちは中心部の商店街や付近の土産物店を見てまわり、同時に飲食店で各自夕食をとった。ある二年生男子は「石垣島の町並みは滋賀県とどこか違う雰囲気を感じられた。あと、私服で友達と一緒に土産物店るのが楽しかった」と話してくれた。

(桜風)



4日間お世話になるホテルロイヤルマリンパレスの支配人・吉田大介さんに委員長葛川君が代表してあいさつを行った。

よろしくお願ひします

修学旅行委員があいさつ

石垣名物！？ぶくぶく茶



大通りを外れて裏路地に行くと、こんな店がある。『ぶくぶく茶屋』だ。この店は、石垣島で唯一『ぶくぶく茶』なるメニューが存在する店である。

『ぶくぶく茶』とは何か。一言で言うと、『泡立つお茶』である。それを頼むと、まず始めに原液が運ばれてきてその泡立て方を説明されるのだが、それには茶道の趣がある。

そして泡立ったそれをお茶の上に乗せ、その上に少量のきな粉を乗せれば完成である。

また、気になる味を8組男子生徒に聞くと「おいしいと思うには慣れが必要だ」と苦笑いしていた。(雅)